

ごとう通信

第 57 号

平成 17 年 9 月 1 日

なんだかんだで一番暑い時期は越えたようですね(たぶん)。個人的には、結構過ぎしやすい夏だったので、皆さんはどうですか？ 例年通り日焼けしてしまい「先生、海ですか？」と聞かれましたが、これまた例年通り、純粋な「新宿焼け」ですからあしからず。

さて、先日テレビで、今年の流行語の一つとして「ロハス」という言葉を挙げていました。聞いたことありませんか？「Lifestyles Of Health And Sustainability」の頭文字をとったもので、「健康的で持続可能なライフスタイル」といった意味になるのでしょうか。少し調べてみると「地球環境保護と人間の健康を最優先し、持

続可能な社会の在り方を志向するライフスタイル」という解説が出ていました。欧米に端を発した生活の価値観らしいのですが、なかなか日本で取り入れるのは難しいですね。僕も含めてなかなか休みはなく、大切だと分かっているても自分の健康にまでは気が回らないというのが実情です。

先日帰宅すると、妻の読んでいる本がテーブルの上に何冊か置いてあり、見てみるとヨガや健康食のタイトルが並んでいました。そこでハタと気づきました。「健康のためには死んでも良い」というほどの健康オタクで、ごみの分別にうるさい妻の登世子が「ロハス」な生き方なのか！・・・というところで、とても「ロハス」な生き方に憧れをもてないこの



頃です。

先端医療？

先日、ある女性雑誌の編集の方からお電話をもらいました。「読者のアンケートでふれあい歯科さんのお名前が挙がりました。ご紹介したいのですがよろしいでしょうか？」うちとしては宣伝を全てお断りしているし、何ととっても拝見できる方の人数は限られているのですが、お断りをしました。推薦していただいただけでもうれしかったのですが。

その後の編集者との会話の中で、「審美やインプラントといった先端医療をどの程度導入されていますか？」との質問。「？」もちろん利害関係もないので素直に僕の考えを伝えておきました。「歯科の本分は痛みをやわらげ、機能を回復すること。審